

ICT を活かした スポーツ情報戦略

入場無料

要事前申込

日時 平成30年 **2月20日**(火) 15時00分～

場所 学習院大学 西2号館 3階 302教室

講演者 渡辺 啓太氏

下記URLからお申し込みください ※先着160名

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cc/kenkyukai/2017>



〈主催〉学習院大学計算機センター

〈後援〉豊島区／学習院大学スポーツ・健康科学センター

〈お問い合わせ〉cc-off@gakushuin.ac.jp



ICT を活かしたスポーツ情報戦略

映画「マネーボール」の流行、各トップスポーツでのデータやテクノロジーの活用など、スポーツの世界でも分析・データ活用が勝敗に大きな影響を及ぼす時代となっています。本セッションでは身近なスポーツの裏側で、実際にどのような分析がなされているのか、事例を交えながら、ご紹介していただきます。

平成30年2月20日 (火) 14:30～開場
15:00～開演 (講演70分+質疑応答)

学習院大学 西2号館 3階 302教室

講演

渡辺 啓太 氏

一般社団法人日本スポーツアナリスト協会代表理事。
公益財団法人日本バレーボール協会ハイパフォーマンス戦略担当、男子強化委員会主事、アスリート委員会主事。
公益財団法人日本オリンピック委員会JOC選手強化本部情報・医・科学専門部会 情報・科学サポート部門メンバー。
総務省スポーツ×ICTワーキンググループメンバー。
専修大学ネットワーク情報学部客員教授。



「ITをスポーツに活用すること」を志して大学時代に独学でアナリスト活動を開始。在学中に全日本女子バレーボールチームのアナリストに抜擢され、以後10年以上にわたり情報戦略活動を担当し、2008年北京、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロと3度のオリンピックを日本選手団役員として支援。2010年には世界で初めてiPadを用いた情報分析システムを考案・導入し、32年ぶりとなる世界選手権でのメダル獲得、2012年のロンドンオリンピックでは28年ぶりとなる銅メダル獲得に貢献した。全日本チームの支援を続ける傍ら、アナリスト育成セミナー等を開催して後進育成にも注力。2014年からは競技の枠組みを超えたスポーツアナリストの連携強化及び価値向上を目指して日本スポーツアナリスト協会を創設し、代表理事として活動している。主な著作は『なぜ全日本女子バレーは世界と互角に戦えるのか』（東邦出版2012）、『人はデータでは動かない——心を動かすプレゼン力』（新潮社2014）など。

お申し込み

下記URLよりお申し込みください。

※先着160名までとさせていただきます

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cc/kenkyukai/2017>



お問い合わせ

学習院大学計算機センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL : 03-5992-1050

FAX : 03-5992-1018

E-mail: cc-off@gakushuin.ac.jp

会場アクセス

JR 山手線「目白」駅下車 徒歩 約5分

東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅下車 徒歩 約10分

都電荒川線「学習院下」駅「鬼子母神」駅 も利用可能

